2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　チムニー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3178　　URL https://www.chimney.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　茨田　篤司
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員財経担当　（氏名）　阿部　真琴　　(TEL) 03(5839)2600
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年11月27日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,298	4.2	33	△40.2	37	△57.6	△91	―
2026年３月期中間期	12,763	0.0	55	△82.5	87	△75.8	101	△42.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△68百万円(　　―%)　2026年３月期中間期　144百万円(△54.9%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△4.72	―
2026年３月期中間期	5.27	―

（参考）EBITDA　2027年３月期中間期 491百万円(△3.8%)　2026年３月期中間期 510百万円(△34.1%)
*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	14,170	6,239	44.0
2026年３月期	15,874	6,404	40.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　6,239百万円　　2026年３月期　6,404百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
2027年３月期	―	2.00			
2027年３月期(予想)			―	3.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	6.2	500	1.8	550	2.3	250	△50.5	12.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	19,340,800株	2026年３月期	19,340,800株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	47,895株	2026年３月期	47,895株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	19,292,905株	2026年３月期中間期	19,292,905株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料Ｐ４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きなどにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、継続的な物価上昇により、個人消費は伸び悩む状況が続いており、中東情勢を背景とした資源価格の高騰などの影響を受け、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、外国人観光客の増加に伴い回復の動きが続いているものの、継続的な物価上昇による消費者の節約志向や、体験価値などへの選別志向が続き、原材料費、光熱費、人件費、建築費などの上昇も相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものになっております。

このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、当社グループの店舗がお客様から選ばれる店舗となり、安全・安心と楽しさを提供することでお客様に元気になっていただけるよう取り組んでまいりました。

足元の取組みとしては、本年度のスローガンとして「変える勇気、変わる覚悟。全員で創る地域一番店」を掲げ、①店舗収益向上戦略、②専門業態の拡大と新規出店・業態転換、③多様な人財(*1)の活躍に注力しております。

飲食事業では、①店舗収益向上戦略として、７月に「食べ尽くせ！夏の元気祭り」フェアを開催し、目玉商品として、カレーマヨソースでやみつきになる味わいの「ギョニカツくん」を１本77円（税抜）と期間限定の特別価格でご提供させていただきました。９月には糖質ゼロ・プリン体ゼロのシュワッと香る「鹿児島焼酎ハイボール」フェア第３弾を開催いたしました。目玉商品として、厳選した話題のクラフト焼酎を７種類ご用意し、焼酎ハイボールとして全種類１杯299円（税抜）で販売させていただき、多くのご注文をいただくことができました。あわせて、季節や魅力を感じられるメニューや体験価値をご提供するため、料理家の栗原心平氏とのコラボメニューの継続、従業員教育に努め、お客様から選ばれる店舗となるよう行動いたしました。②専門業態の拡大と新規出店・業態転換としては、７月に、選別志向に対応した高付加価値業態「火入れ みつ囲」業態を池袋に出店いたしました。みつ囲業態は、新宿に続き、２店舗目となります。③多様な人財の活躍では、外国籍社員の幹部候補生に対する「役職者セミナー」の実施や、全従業員が働きがいのある職場で活躍できる環境づくりと運用に努めてまいりました。

インバウンド団体や国内旅行団体の集客につきましては、引き続き、取り組みを強化し、堅調に推移いたしました。また、新規顧客層の獲得及び来店動機の創出を目的として、ＷＥＢ、ＳＮＳ、テレビといった各種メディアを活用し、商品の魅力を訴求してまいりました。

店舗開発としましては、新規出店を慎重に検討した結果、飲食事業で直営店２店舗を出店し、また、お客様に居心地の良い空間を提供するため、継続して店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）をすすめてまいりました。

コントラクト事業(*2)におきましては、引き続き、店舗数の拡大に努め、直営店１店舗を出店いたしました。

これらにより、当社の直営店既存店売上高は、前年同期比1.1％減となり、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は13,298百万円（前年同期比4.2%増）となり、営業利益は33百万円（前年同期比40.2%減）となりました。経常利益は、持分法による投資損失28百万円を計上（前年同期は13百万円の投資利益の計上）したことにより37百万円（前年同期比57.6%減）となり、親会社株主に帰属する中間純損益につきましては、91百万円の損失となりました（前年同期は101百万円の利益計上）。前年同期と比較すると、特別利益が123百万円減少した影響により、親会社株主に帰属する中間純損益が減少しております。

*1 当社グループでは、「人材」ではなく、「人財」と表記しております。

*2 防衛省、法務省所管の厚生施設内における飲食店の運営等

当中間連結会計期間の店舗数につきましては、以下のとおりであります。

	前期末	新規出店	閉店	ＦＣ転換数	直営転換数	中間期末
直営店	202	2	△２	－	7	209
コントラクト店	90	1	－	－	－	91
全直営店計	292	3	△２	－	7	300
ＦＣ店	140	－	△８	－	△７	125
当社合計	432	3	△10	－	－	425
(連結子会社)						
(株)紅フーズコーポレーション	19	－	－	－	－	19
めっちゃ魚が好き(株)	9	－	－	－	－	9
当社グループ合計	460	3	△10	－	－	453

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて1,704百万円減少し、14,170百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,118百万円、売掛金が123百万円、のれんが231百万円、未収入金が82百万円、差入保証金が89百万円減少したこと等によります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて1,539百万円減少し、7,930百万円となりました。この主な要因は、長短前受収益が90百万円増加した一方で、買掛金が185百万円、未払金が107百万円、有利子負債が1,313百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて164百万円減少し、6,239百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が26百万円増加した一方で、配当金の支払いが96百万円、当中間連結会計期間の業績により親会社株主に帰属する中間純損失を91百万円計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により529百万円増加、投資活動により230百万円減少、財務活動により1,418百万円減少した結果、前連結会計年度末より1,118百万円減少し4,283百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動の結果増加した資金は、529百万円（前年同期は674百万円の増加）となりました。主な内訳は、減価償却費186百万円、減損損失82百万円、のれん償却額231百万円、売上債権の減少123百万円があった一方で、税金等調整前中間純損失70百万円、仕入債務の減少185百万円、未払金の減少87百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動の結果減少した資金は、230百万円（前年同期は657百万円の減少）となりました。主な内訳は、差入保証金の回収による収入が87百万円あった一方で、固定資産の取得による支出が267百万円、差入保証金の差入による支出が35百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動の結果減少した資金は、1,418百万円（前年同期は652百万円の減少）となりました。主な内訳は、短期借入金の減少が165百万円、長期借入金の返済が1,155百万円、配当金の支払額が96百万円あったこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,401,594	4,283,100
売掛金	656,254	532,909
ＦＣ債権	213,064	169,325
商品	287,067	297,329
貯蔵品	4,796	6,939
その他	667,839	568,347
貸倒引当金	△134,230	△133,204
流動資産合計	7,096,387	5,724,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,673,529	1,697,421
その他（純額）	376,696	322,176
有形固定資産合計	2,050,226	2,019,597
無形固定資産		
のれん	1,765,745	1,533,869
その他	118,953	124,762
無形固定資産合計	1,884,698	1,658,631
投資その他の資産		
差入保証金	3,174,703	3,085,582
その他	1,716,879	1,729,505
貸倒引当金	△48,286	△47,826
投資その他の資産合計	4,843,296	4,767,262
固定資産合計	8,778,221	8,445,491
資産合計	15,874,608	14,170,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	989,398	804,047
ＦＣ債務	199,491	182,294
短期借入金	2,300,000	2,135,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,268	307,868
未払法人税等	46,100	23,145
賞与引当金	161,855	162,492
店舗閉鎖損失引当金	9,104	22,800
資産除去債務	15,400	20,331
その他	1,323,890	1,377,297
流動負債合計	6,355,509	5,035,277
固定負債		
長期借入金	1,289,440	1,136,706
退職給付に係る負債	240,438	242,440
資産除去債務	743,755	729,698
その他	841,417	786,614
固定負債合計	3,115,051	2,895,459
負債合計	9,470,560	7,930,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,197,792	4,197,792
利益剰余金	2,132,138	1,944,437
自己株式	△101,152	△101,152
株主資本合計	6,328,778	6,141,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,803	94,691
退職給付に係る調整累計額	7,466	3,733
その他の包括利益累計額合計	75,269	98,424
純資産合計	6,404,048	6,239,502
負債純資産合計	15,874,608	14,170,238

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,763,112	13,298,614
売上原価	4,003,921	4,182,297
売上総利益	8,759,191	9,116,316
販売費及び一般管理費	8,703,867	9,083,223
営業利益	55,324	33,093
営業外収益		
受取利息	5,638	9,678
受取配当金	3,130	3,950
持分法による投資利益	13,580	－
受取手数料	33,752	31,512
その他	12,433	26,113
営業外収益合計	68,535	71,254
営業外費用		
支払利息	35,670	36,185
持分法による投資損失	－	28,588
その他	895	2,523
営業外費用合計	36,565	67,297
経常利益	87,293	37,050
特別利益		
固定資産売却益	－	5,000
受取保険金	56,550	－
受取補償金	71,706	－
特別利益合計	128,257	5,000
特別損失		
固定資産除却損	5,630	－
減損損失	79,658	82,897
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,905	15,206
その他	16,618	14,109
特別損失合計	114,813	112,213
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	100,737	△70,163
法人税、住民税及び事業税	22,669	21,049
法人税等調整額	△23,617	23
法人税等合計	△948	21,073
中間純利益又は中間純損失(△)	101,685	△91,236
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	101,685	△91,236

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	101,685	△91,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,560	26,888
退職給付に係る調整額	316	△3,733
その他の包括利益合計	42,876	23,154
中間包括利益	144,562	△68,081
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	144,562	△68,081

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	100,737	△70,163
減価償却費	155,973	186,267
減損損失	79,658	82,897
のれん償却額	231,875	231,875
長期前払費用償却額	8,079	20,662
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△46,144	△1,486
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,476	636
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△2,186	13,695
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,206	△1,731
受取利息及び受取配当金	△8,768	△13,628
支払利息	35,670	36,185
持分法による投資損益（△は益）	△13,580	28,588
固定資産売却損益（△は益）	－	△5,000
固定資産除却損	5,630	－
受取保険金	△56,550	－
受取補償金	△71,706	－
売上債権の増減額（△は増加）	119,000	123,345
棚卸資産の増減額（△は増加）	17,798	△12,404
ＦＣ債権の増減額（△は増加）	26,102	43,739
仕入債務の増減額（△は減少）	△192,802	△185,351
ＦＣ債務の増減額（△は減少）	△32,281	△17,196
未払金の増減額（△は減少）	△47,666	△87,567
その他	321,451	221,499
小計	636,973	594,865
利息及び配当金の受取額	8,768	13,628
保険金の受取額	51,203	－
補償金の受取額	71,706	－
利息の支払額	△36,922	△34,668
法人税等の支払額	△44,308	△44,004
その他	△13,000	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	674,420	529,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△588,602	△267,335
固定資産の売却による収入	－	5,000
固定資産の除却による支出	△45,439	△7,591
差入保証金の差入による支出	△57,448	△35,106
差入保証金の回収による収入	33,263	87,317
預り保証金の返還による支出	△200	△8,000
預り保証金の受入による収入	19,859	16,858
その他	△18,669	△21,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,236	△230,066

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△400,000	△165,000
長期借入金の返済による支出	△155,134	△1,155,134
配当金の支払額	△96,512	△96,448
リース債務の返済による支出	△1,350	△1,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△652,996	△1,418,246
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△635,812	△1,118,493
現金及び現金同等物の期首残高	6,628,234	5,401,594
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,992,422	4,283,100

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。